

News Letter

2025年

1月

中国四国農政局
鳥取県拠点

有機農業に取り組む活力ある農業者



「美味しいです」と國吉美貴 代表

☆ 就農8年目、美味しい野菜を作っています

鳥取県大山町の國吉農園代表の國吉美貴（34）さんは岡山市出身。平成27年に農業部門の地域おこし協力隊員として奥様と大山町へターン。移住当初は「どうして大山町へ来た？」とよく尋ねられ、「農業をやりたいくて」と伝え、高齢化が進み担い手の少ない地域に喜んで受入れられたとのこと。2年後に新規就農し8年目。奥さんを含む職員12人とともに、有機栽培で美味しい野菜を生産している活力みなぎる農業者です。

☆ 日々こだわりを持って

こだわりは『自分たちがおいしいと思えるものを作る』こと。そのため、生産の土台である土づくりに労力を惜しむことはありません。畝に堆肥や菌を施し、マルチをかぶせて太陽熱消毒を行います。土づくりがうまくいけば、作物は食味も良く収量も上がります。

商品の売りは、糖度が高いこと。白ねぎは23度、とうもろこしは20度を超えます。子育て世帯の女性や食に敏感な方などから「糖度が高く感じる」「安心して食べられる」と高評価で売れ行き好調。県内外のおよそ100人に野菜セットを定期販売するほか、関西と中四国14店舗、東京3店舗のオーガニックスーパーや県内外の飲食店13店舗に販売しています。

もう一つのこだわりは『自身を含め職員が楽しく働ける環境づくり』。「働く仲間が信頼し合えて、いい仕事ができる。生産はもとより販路開拓や商品PRのためのSNS、チラシ等の作成など様々な部分で農園を支えてくれてとても頼もしい。職員あつての國吉農園。今後も、安全管理を徹底し、健康で楽しく仕事をしていきたい。」と國吉代表。

☆ おいしい野菜をより多くの人に

今後の目標は「販路拡大し、美味しい野菜をより多くの人に届けたい。現在の単収は慣行栽培のおよそ7割だが、将来的に慣行栽培の2倍を目指す。また、地域の将来に向かい合うことも大変重要。離農による耕作放棄地を少なくするためにも規模拡大していきたい。」と頼もしく話しました。

國吉農園ホームページ

<https://www.kuniyoshi-nouen.jp/>



除草作業の様子



管理の行き届いたほ場

いま
農林業の現在を知る大規模調査

2025年 農林業センサス

令和7年2月1日現在

農林業センサス
マスコットキャラクター
『つつー』

あなたの回答が
農業・林業の未来につながる

2025年農林業センサスの調査実施中！

調査へのご協力を、よろしくお願いします

農林業センサスとは？

調査の目的

農林業センサスは、5年ごとに、我が国の農林業を営む方や農山村の実態を明らかにする調査です。農林業に関する最も基本的で、重要な統計を作成することを目的としています。

調査の対象

1. 農林業経営体調査

全国の農業・林業を営むすべての方を対象とします。

2. 農山村地域調査（農業集落調査）

全国の農業集落を対象とします。

詳しくは、こちらをご覧ください。（農林水産省ホームページ）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/census/afc/2025cp/cp99.html>

